

令和6年2月16日

気象庁大気海洋部予報課、環境・海洋気象課海洋気象情報室、気候情報課

一般報 XML の解説

0 本解説で対象とする一般報

- 全般台風情報（総合情報、上陸等情報）
- 全般台風情報（位置、発生情報）、発達する熱帯低気圧に関する情報
- 全般台風情報（位置詳細）
- 全般気象情報
- 地方気象情報
- 府県気象情報
- 天気概況
- スモッグ気象情報
- 全般スモッグ気象情報
- 全般潮位情報
- 地方潮位情報
- 府県潮位情報
- 熱中症警戒アラート
- 全般季節予報（2週間気温予報）

1 全体構成

Report

- └ Control 管理部
- └ Head ヘッダ部
- └ Body 内容部

2 各部の構成と内容

(1) 管理部

① 管理部の構成

Control

└ Title	情報名称
└ DateTime	発表時刻
└ Status	運用種別
└ EditorialOffice	編集官署名
└ PublishingOffice	発表官署名

② 管理部の詳細

タグ	解説
Title	「情報名称」 電文の種別を示すための情報名称を示す。“全般台風情報”、“全般潮位情報”など、一般報の種類により固定。
DateTime	「発表時刻」 発表時刻。未来時刻にはならない。“2008-01-09T19:45:11Z”のように協定世界時で記述する。
Status	「運用種別」 本情報の位置づけ。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	「編集官署名」 実際に発表作業を行った「編集官署名」を示す。“気象庁本庁”“大阪管区气象台”のように記述する。
PublishingOffice	「発表官署名」 本情報を業務的に発表した「発表官署名」を示す。“気象庁”、“大阪管区气象台”のように記述するか、“環境省気象庁”のようにlist型（半角スペース区切り）で併記する。

(2) ヘッダ部

① ヘッダ部の構成

Head

└ Title	標題
└ ReportDateTime	発表時刻
└ TargetDateTime	基点時刻
└ EventID	識別情報
└ InfoType	情報形態
└ Serial	情報番号
└ InfoKind	スキーマの運用種別情報
└ InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン
└ Headline	見出し要素

② ヘッダ部の詳細

タグ	解説
Title	<p>「標題」</p> <p>情報を示す標題。具体的な内容が判別できる名称であり、可視化を目的として利用する。“平成21年 台風第8号に関する情報 第26号 (位置)”、“暴風雪と高波及び大雪に関する東北地方気象情報”、“大潮による高い潮位に関する全般潮位情報”などと記述する。</p>
ReportDateTime	<p>「発表時刻」</p> <p>本情報の公式な発表時刻を示す。“2008-09-05T10:50:00+09:00”のように日本標準時で記述する。</p>
TargetDateTime	<p>「基点時刻」</p> <p>本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。“2008-09-05T10:50:00+09:00”のように日本標準時で記述する。全般季節予報（2週間気温予報）では、「基点時刻」は発表日の8日後となる。それ以外は「基点時刻」は「発表時刻」と同一。</p>
EventID	<p>「識別情報」</p> <p>InfoKind が“同一現象用平文情報”の場合は、当該要素を用いる。一連の気象現象や台風などに対し、1つの固定した ID 情報を付加する。それぞれの気象現象や台風に対してはユニークな ID 情報となる。InfoKind が“平文情報”の場合は、要素内に何も記述しない（空タグとする）。</p>
InfoType	<p>「情報形態」</p> <p>本情報の形態を示す。“発表”“訂正”“取消”のいずれかを記述する。</p>
Serial	<p>「情報番号」</p> <p>一連の気象現象や台風などで必要に応じ情報番号を付加する。なお、InfoKind が“平文情報”の場合は、要素内に何も記述しない（空タグとする）。</p>
InfoKind	<p>「スキーマの運用種別情報」</p> <p>同一スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。一般報の種類により“同一現象用平文情報”または“平文情報”と記述する。</p>
InfoKindVersion	<p>「スキーマの運用種別情報のバージョン」</p> <p>スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。本解説のバージョン番号は“1.0_0”。</p>
Headline	<p>「見出し要素」</p> <p>防災気象情報事項となる見出し要素を示す。</p>
└ Text	<p>「見出し文」</p> <p>見出し文を記述するか、要素内に何も記述しない（空タグとする）。</p>

(3) 内容部

① 内容部の構成

Body

└ TargetArea

└ Name

└ Code

└ Notice

└ Comment

└ Text

② 内容部の詳細

タグ	解説
Body	一般報の内容を記述する。
└ TargetArea	天気概況だけで用いる。発表官署が担当する府県予報区を明示する。なお、本文の内容は担当する府県予報区より広い地域を記述する場合もある。属性 codeType には、コード番号に対応するコード種別を記述する。
└ Name	府県予報区名を“福岡県”のように記述する。
└ Code	府県予報区名に対応するコード番号を“400000”のように記述する。
└ Notice	要素内に何も記述しない（空タグとする）。
└ Comment	一般報の内容をテキスト形式で記述する。
└ Text	プレーンテキスト形式で記述する。改行コードは“LF” 1つで統一する。属性 type には“本文”と記述し、内容を示す。

(4) 補足

① /Head/Title の例

全般台風情報（総合情報、上陸等情報）

“平成20年 台風第15号に関する情報 第44号” など

全般台風情報（位置）

“平成21年 台風第8号に関する情報 第26号（位置）” など

全般台風情報（発生情報）

“平成19年 台風第4号に関する情報” など

発達する熱帯低気圧に関する情報

“発達する熱帯低気圧に関する情報 第01の01号” など

全般台風情報（位置詳細）

“平成21年 台風第8号に関する情報 第25号付録（位置詳細）” など

全般気象情報

“大雨と雷及び突風に関する全般気象情報” など

地方気象情報

“大雨と突風に関する九州北部地方（山口県を含む）気象情報” など

府県気象情報

“大雨に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報” など

天気概況（/Head/Title は固定）

“天気概況”

スモッグ気象情報

“スモッグ気象情報（光化学オキシダント）”

“スモッグ気象情報（硫黄酸化物）” など

全般スモッグ気象情報

“全般スモッグ気象情報（光化学オキシダント）” など

全般潮位情報

“山陰から九州北部地方にかけての副振動に関する全般潮位情報” など

地方潮位情報

“九州北部地方（山口県を含む）の副振動に関する地方潮位情報 第1号” など

府県潮位情報

“副振動に関する山口県潮位情報” など

熱中症警戒アラート

“熱中症警戒アラート”

全般季節予報（2週間気温予報）（/Head/Titleは固定）

“2週間気温予報（概況）”

② /Head/Headline/Text の記述、省略

全般台風情報（総合情報、上陸等情報）

→記述する。

全般台風情報（位置、発生情報），発達する熱帯低気圧に関する情報

→記述する。

全般台風情報（位置詳細）

→何も記述しない（空タグとする）。

全般気象情報

→記述する。

地方気象情報

→記述する。

府県気象情報

→記述する。

天気概況

→見出し文を記述するときと、要素内に何も記述しない（空タグとする）ときがある。

スモッグ気象情報

→記述する。

全般スモッグ気象情報

→記述する。

全般潮位情報

→記述する。

地方潮位情報

→記述する。

府県潮位情報

→記述する。

熱中症警戒アラート

→何も記述しない（空タグとする）。

全般2週間気温予報

→何も記述しない（空タグとする）。

—以上—